

# 幸せな社会



## 傾聴ボランティア養成研修

「聴く」姿勢を学ぶ…

～お話、聴かせていただきます～



関連記事 5 ページ

### もくじ

- P2 新年のご挨拶、共同募金助成団体募集
- P3 令和4年度事業評価、非常勤職員・保育士募集
- P4 市民後見人を紹介します(第2弾)
- P5 成年後見制度講演会開催結果、傾聴ボランティア養成研修開催結果
- P6 生活支援体制整備事業学習会開催結果、地域貢献・社会貢献のカタチ
- P7 寄付者報告、お知らせ
- P8 ボランティア掲示板

発行

社会福祉法人 **江別市社会福祉協議会**

江別市錦町14番地87 江別市総合社会福祉センター内

☎ 011-385-1234 Fax 011-385-1236

ホームページ <http://www.ebetsu-shyakyo.jp>

メール [Social-Welfare@ebetsu-shyakyo.jp](mailto:Social-Welfare@ebetsu-shyakyo.jp)

社協だより「幸せな社会」は、1月・4月・7月・10月に発行しています。

「幸せな社会」は、点字版やCD(音声)版もあります(社協事務局までお問い合わせください)

2024

1 月

No. 212



QRコードを読み取って  
社協ホームページへ





謹んで

新年のお慶びを

申し上げます



まさよし

旧年中は、本会事業の推進に多くのご支援とご協力を賜り、役員並びに職員一同を代表し、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、本会においては、終息がなかなか見えない新型コロナウイルス感染症に戦々恐々としながらも、ふれあい福祉の広場や各種研修会の再開に踏み切りました。地域においても、夏祭り等のイベントや懇親会の開催等、日常生活に少しずつ潤いが感じられるようになった一年ではなかったかと感じる反面、物価高騰による影響は、我々の生活を脅かすものとなっております。

このような中、地域社会の変容による孤独・孤立の問題や、社会情勢の変化がもたらす生活困窮課題が表面化し、本会では関係各所の皆様にお力添えをいただきながら、福祉の支援を必要とする人に対して生活相談や生計維持のための支援に努めてまいりました。

今後も、同様にお力添えをいただき、共に地域福祉活動の協働をお願いするとともに、新しい年が皆さまにとりまして、健やかで明るい年になりますよう心から祈念いたしまして新年のご挨拶いたします。

旧年中は、本会の活動に多くの方々より温かいご理解とご支援を賜りましたことに、心よりお礼申し上げます。

また、依然として新型コロナウイルス感染症による影響とインフルエンザの流行が懸念される中、昨年10月に実施いたしました赤い羽根共同募金活動にご協力いただきましたことに重ねてお礼申し上げます。

さて、毎年12月に開始する「歳末たすけあい募金」を原資とした「歳末見舞金品贈呈事業」では、過去最大となった昨年度の実績をさらに上回る申請件数となり、共同募金運動の意義を改めて感じる次第でございます。そして、このような社会情勢にこそ、共同募金運動を通じ、人と人とのつながりを大切にすることを育むことができる地域づくりにしたいと考えております。

本年も市民の皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げますとともに、幸せあふれる良い一年になりますよう心よりお祈り申し上げます。

市へ令和6年度予算要望書を提出



要望書提出

(左から江別市・後藤好人市長、社協・工藤祐三会長、中川雅志副会長)

第4期地域福祉実践計画の推進等を重点要望

昨年11月22日、社協正副会長が後藤市長を訪問し、令和6年度の社協事業への支援について要望書を提出しました。

要望内容は、愛のふれあい交流事業等の第4期地域福祉実践計画の推進、北光保育園等の猛暑対策、くらしサポートセンターえべつつの体制強化、総合社会福祉センター施設整備について支援を要望しました。

共同募金 ~ご協力ありがとうございます~

中間実績報告 (令和5年12月7日現在)

赤い羽根募金 4,266,047円  
歳末たすけあい募金 735,565円

共同募金助成団体募集

市内の福祉充実に寄与する  
令和6年度福祉事業が対象

江別市共同募金委員会では、福祉活動を目的とする民間の福祉団体に必要な費用の一部を助成しています。助成の対象は市内の福祉充実に寄与する令和6年度の福祉活動・事業です。詳しい募集内容は、社協のホームページでご確認ください。

締切 令和6年1月16日(火)  
詳細 江別市共同募金委員会  
☎3385-12334

第4期地域福祉実践計画 令和4年度事業基本計画の評価

基本計画の主な内容	評価点
<b>基本計画1</b> 地域福祉に関する情報提供や包括的な相談体制による支援 ▶ 広報誌の発行、生活困窮者自立支援のための「くらしサポートセンターえべつ」での相談事業の実施、成年後見実施機関の運営や法人後見の実施、生活福祉資金貸付など12事業	3
<b>基本計画2</b> ボランティア活動で進める福祉の環境づくり ▶ ボランティア活動の相談・登録・活動先紹介など5事業	3
<b>基本計画3</b> 市民参加で進める地域での生活支援や交流活動の促進 ▶ 愛のふれあい活動、共同募金運動への協力など4事業	3
<b>基本計画4</b> 体験学習、研修による福祉意識の醸成 ▶ ワークキャンプや学校での総合的な学習の時間への協力の2事業	3
<b>基本計画5</b> 自立した生活を支援する福祉サービスの提供 ▶ 除雪サービス、給食サービス、視覚障がい者へのガイドヘルパーの派遣、福祉機器の貸与や北光保育園の運営など7事業	3
<b>基本計画6</b> 地域に信頼される社協運営のための組織づくり ▶ 行政との連携、職員の資質向上、総合社会福祉センターの運営など13事業	3

評価方法：個別事業を5段階で評価した後、基本計画ごとに平均点を算出(四捨五入)したものを評価点としています。  
 評価点：5→非常に評価できる 4→かなり評価できる 3→普通に評価できる 2→少し評価できる 1→ほとんど評価できない

第4期地域福祉実践計画  
**令和4年度事業を評価**

生活困窮者の生活再建やコロナ禍で顕在化した生活課題に向き合う支援を実施

社協の総務・地域福祉部会では、第4期地域福祉実践計画における令和4年度事業について事業評価を行いました。  
 個別事業の評価では、令和4年度は、コロナ禍で生活福祉資金特別貸付や生活困窮状態にある人からの相談が減少しない状況が続いており、貸付相談等を通して表面化した生活困窮課題に対し

では、くらしサポートセンターえべつ(生活困窮者自立支援制度)へつなぎ、返済負担を抱えながらも生活の立て直しができるよう必要に応じて家計改善支援事業、メンタルケアなどを通じて支援したことを高く評価しました。  
 一方、人と接したり、ふれあいを推進する活動は、前年度に引き続き実績は低迷しましたが、非接触型ボランティアの推進やボランティア団体の連絡ツールとしてのICT活用といったウィズコロナ時代に対応した新たな取り組みを評価し、「順調に推進している」としました。その結果、6つの基本計画

全て「予定どおり推進している」として評価点を3点としました。

令和6年度  
**非常勤職員・保育士募集**

非常勤職員

令和6年度採用の非常勤職員を募集します。事務局職員が丁寧に業務をサポートします。ご応募をお待ちしています。

応募資格(次の要件を全て満たす方)  
 ・高等学校卒業以上の方  
 ・パソコンのワード・エクセルの基本操作ができる方  
 ・普通自動車免許を有する方

勤務先、採用人数及び雇用期間  
 ・江別市社会福祉協議会事務局(錦町14番地87)  
 ・非常勤職員 1人  
 ・令和6年4月1日～令和7年3月31日 ※次年度更新の可能性あり

業務内容  
 主に、生活に困窮する世帯からの相談支援に関する業務を担当するほか、地域福祉事業の補助及びパソコン操作による文書や名簿作成、窓口受付、電話対応等に従事。

給与・保険など(令和5年12月現在) 給料月額16

万4千100円、時間外手当・通勤手当・期末手当支給、健康・厚生年金・雇用・労災保険加入、有給休暇10日、その他の勤務条件は本会規程による。  
 勤務時間、休日 週38時間45分(5日間)、休日は土日・祝日・年末年始  
 応募方法、採用試験及び問合せ先 令和6年1月26日(金)までに顔写真貼付の履歴書を提出してください(郵送は当日消印有効)。2月上旬～中旬面接試験を行います。

保育士

令和6年度採用の保育士を募集します。経験豊富な保育士が丁寧に業務をサポートします。ご応募をお待ちしています。

応募資格  
 ・保育士資格を取得している方(取得見込可)  
 ・勤務先、採用人数及び雇用期間  
 ・北光保育園(美原1445)  
 ・通年保育士 1人  
 ・令和6年4月1日～令和7年3月31日 ※次年度更新の可能性あり

業務内容  
 農村地域の子育て支援の一環として運営している保育園での保育業務に従事。

給与・保険など(令和5年12月現在) 給料月額16

給与・保険など(令和5年12月現在) 初任給月額・大学卒16万7千400円、短大2卒15万1千900円、高校卒14万3千800円(職歴加算有。昇給有)。期末手当、超過勤務手当、通勤手当支給、健康・厚生年金・雇用・労災保険加入、有給休暇10日、その他勤務条件は本会規程による。  
 採用試験・日時・会場  
 書類選考及び個別面接(随時)、江別市総合社会福祉センター(錦町14番地87)ページなどに掲載、令和6年3月15日(金)までに顔写真貼付の履歴書及び保育士資格取得(取得見込可)を証明する書類のコピーを提出してください(郵送は当日消印有効)。  
 ※採用者が決定した場合、その時点で募集を打ち切ります。

問合せ・応募先

▼応募書類の提出・問合せは、月々金(祝日・年末年始を除く)午前8時45分～午後5時15分  
 ▼江別市社会福祉協議会  
 〒069-0811  
 江別市錦町14番地87  
 ☎385-11234

詳細

社協ホームページをご覧ください。

問合せ・応募先

▼応募書類の提出・問合せは、月々金(祝日・年末年始を除く)午前8時45分～午後5時15分  
 ▼江別市社会福祉協議会  
 〒069-0811  
 江別市錦町14番地87  
 ☎385-11234

# 江別市成年後見支援センター市民後見人を紹介します！

～安心した生活を送るための支援をしています～

第2弾



江別市成年後見支援センターでは、成年後見制度の利用者(被後見人等)が日常生活を安心して送れるよう支援する市民後見人を養成しています。

「市民後見人」とは、弁護士や司法書士などの資格をもたない親族以外の市民による成年後見人等です。

本シリーズ第2弾として、実際に市民後見人として活躍している氏家泰子さんに普段の活動で感じる事等についてお話を伺いました。

## Q. 市民後見人になったきっかけは？

A. 兄夫婦が認知症になり、二人で生活を維持するのは、もう無理ではないか、ということになりました。妹として、家の処分やお金の管理を手助けしようと思いましたが、その気持だけでは事は運ばず、この時に初めて成年後見制度を知りました。私は親族後見人となり、暗中模索しながら進めていました。

そのような時に、江別市で市民後見人の養成講座が開かれることがわかり、私が望んでいたのは、まさしくこれだと思い受講しました。

## Q. 実際にどのような活動をしていますか？

A. 初めて被後見人の方とお会いするときは、少し緊張しますが、少しずつ受け入れてもらいたいと思いながら月一度の訪問をします。



うじいえ たいこ

氏家 泰子さん：児童厚生員として児童センターで27年間勤務。平成27年開催の市民後見人養成講座を受講。



氏家さんはこれまで、市民後見人として2名の方を個人で受任し、親身に最期までご支援いただきました。

今後とも市民後見人としてご活躍いただきたいと思っております！

被後見人の方が高齢者施設などに入所されている場合は、施設職員の方と預けてあるお小遣いの収支を確認し、更にご本人の体調や最近のエピソードなど伺います。その後お部屋を訪れますが、ご本人とお話する時このエピソードがとても役に立ちます。いつも1人で過ごされているお部屋に誰か来てお話できることは、楽しいことではないかなと思います。

私は戦後生まれですが、携わってきた方々は困難な時代を乗り越えて今に至っています。その時代背景に思いを寄せながら、理解を深めたいと思っています。

実務に困ったときは社協担当者に聞きながら進めており心強いです。

## Q. やいがい？

A. 何の取り柄もない自分が、少しばかりのお手伝いができることを嬉しく思います。

日々、私も老いていく中で、今経験していることは、これからの道しるべにもなります。

### ※用語説明

○成年後見制度・・・認知症や知的障がい、精神障がいによって物事を判断する能力が十分ではない方について、家庭裁判所に申立をすることで本人の権利を守る援助者(成年後見人等(後見人、保佐人、補助人))を選任し、本人を法律的に支援する制度です。

○市民後見人・・・市町村等が主催する市民後見人養成講座を受講し必要な知識を得た市民の中から、家庭裁判所が成年後見人等として選任した方です。

## ○成年後見制度講演会を開催

演題： 司法書士による制度解説、事例解説を通して成年後見制度を学ぼう！  
～40人以上の後見人に就任した司法書士の視点～

令和5年11月11日(土)、市民会館小ホールにて成年後見制度講演会を開催し、138名の市民が参加されました。

例年は、制度のしくみや活用方法を知るきっかけとして「制度を楽しく学ぶ」をテーマに開催していましたが、本年度は少し専門的、実務的な内容で開催しました。

講師の大桃司法書士からは、成年後見制度の概要、後見人等の役割、家庭裁判所への手続き方法等について、ご自身が後見人等として対応した事例をもとに解説いただきました。また、当協議会で取り扱った事例に対して法律の専門職並びに専門職後見人の立場から助言いただきました。

質疑応答の中では、後見人等を受任した際、トラブルを回避するには、ご本人(被後見人等)との関係性を良好に保つことや、関係機関との連携が重要とのお話がありました。



講師

司法書士・土地家屋調査士  
大桃 涼輔 氏

## ○第16期 傾聴ボランティア養成研修を開催

4年ぶりに傾聴ボランティア養成研修を開催し、24名の市民の方が受講されました。講師には合同会社うえるかむの池田ひろみ氏をお招きし、「傾聴の基本と心構え」・「『しっかりと聴いています』を伝えるポイント」・「相手の心に寄り添う傾聴」について講義いただき、グループワークを交えて理解を深めました。

また、傾聴するときのポイントを押さえたうえで、それぞれが傾聴とは何かを考えながら実践してほしいとの助言のほか、相手の気持ちにとことん寄り添って聴き切ることの大切さを繰り返しお話いただきました。

受講者からは「3日間の研修を受けて、相手の言葉を否定しない、最後まで聴くという対応が重要だということを中心に刻み込みました」、「人の話を聴くことで、どこまで相手を理解できるのか考える機会になりました。言葉の重要性に改めて気がつきました」などの感想が寄せられました。

研修修了者には、学んだ傾聴技術を活かし、今後の傾聴ボランティア活動において活躍されることを期待しています。



社協 佐藤事務局長から受講者全員に修了証が交付されました。

## 学習会 「じぶんのまちの移動手段

「運転免許返納後の社会参加を考える」開催

生活支援体制整備事業では、いくつになっても住み慣れた地域で暮らし続けることができる地域づくりに取り組んでいます。

高齢者の運転免許返納後の生活に関する不安の声が増えており、昨年度は「移動の自助と互助を考える」学習会と題し、全国の取組事例を学びました。その際、さらに市内の現状についても知りたいという声が寄せられたことから、今年度は江別市内における公共交通の活用や運転免許返納時に覚えておきたい情報を学ぶ「運転免許返納後の社会参加について考える」学習会を令和5年9月20日(水)に開催しました。

近々運転免許返納を考えている方や、日頃地域活動に参加されている方など65名の参加があり、改めて関心の高いテーマであることがうかがえました。

学習会の講師には、北海道中央バス(株)江別営業所の大関健太氏をお招きし、バスの活用方法についてお話いただきました。写真や図を使ったわかりやすい説明に、参加者からは、「ICカードの使い方など、わからないでいたことが知れてよかった」「これからバスに乗って市内を回ってみたい」との感想が多数寄せられました。



### 《参加者の声》

- ・車の運転をやめ、歩ける範囲の中で生活しようとしていたが、この機会に移動手段の学習をしようと思い参加した。
- ・夏は自転車を使用しているが、冬はバスとなるので関心があった。
- ・運転免許返納後は、(自由にでかけることが難しくなり)楽しみが半減するのではと不安。
- ・自分の暮らす街が住みやすい街であるために、移動手段が多数あると良い。
- ・今後もこのような会に参加し、情報集めたい。

## 地域貢献。社会貢献のカタチ

社協は「地域に貢献したい」の架け橋になります！



江別ロータリークラブ様  
【車いす寄贈】



えべつカラオケ振興会様  
【第8回チャリティーえべつカラオケ大会】



野幌料飲店組合様  
【第17回チャリティー野幌元氣祭】



プロスピート様  
【ミュージケーション音安心栖(オアシス)in北海道】

## 損害保険・生命保険代理業



商号：有限会社イー・エス・オフィス

〒069-0824 江別市東野幌本町19番地の1



地域に密着した保険専門店

保険サービス・ジャパンエージェンシー

保険の無料相談実施中

【営業時間】平日9:00～18:00  
定休日 土曜日・日曜日・祝日

0120-74-0433

## 江別の皆様とともに 地域の発展に貢献します



## EPA 江別印刷業協同組合

事務局 〒067-0031 江別市元町32番地2 笹岡印刷機内  
TEL・FAX (011) 389-6730

組合員	(有)ア・ノ 研究社	笹 岡 印 刷 (株)	(株)のっぽろ印刷
	(有)トラスティプリント	藤 塗 装 工 業 (株)	(有)山田印章印刷
	ア ス カ 印 刷	〈賛助会員〉(有)くらしの新聞社	

**貸付資金** 社協では、各種貸付事業を行っています。貸付条件などの詳細はお問合せ下さい。【特別生活資金】燃料費など冬の生活費、限度額5万円、連帯保証人必要 【教育支援資金】高校入学などの入学金や授業料、民生委員による調査有、他制度利用を優先 【福祉金庫】一時的な生活困窮時の生活費、限度額4万円、連帯保証人必要

●ボランティアによる悩みごと電話相談●

社協登録ボランティア団体の相談員が悩みごとをお聞きします。

【相談無料】 ☎389-7830 なやみゼロ

相談日	相談時間	相談名・内容	担当団体名
毎週 火曜日	10時～15時	悩みごととテレホン相談 ▶ 家庭生活の諸問題に関する相談	江別家庭生活カウンセラーグループ
第2・4 水曜日	10時～14時30分	にこにこ相談室 ▶ 家庭生活の諸問題に関する相談	江別市家庭問題研究会
毎週 木曜日	10時～15時	認知症の悩みごとと相談 ▶ 認知症の悩みごとに関する相談	江別認知症の人の家族を支える会
第1・3・5 金曜日	10時～14時30分	悩みごととテレホン相談 ▶ 家庭生活の諸問題に関する相談	江別市家庭問題研究会

善意の寄付  
ありがとうございました

令和5年9月1日～11月30日  
(敬称略・順不同)

社会福祉基金

▼趣旨に賛同して  
匿名 70,000円

▼チャリティ・イベントの  
益金・売上など

えべつカラオケ振興会 50,000円、野幌地区女性団体協議会 118,305円、江別更生保護女性会 3,354円、日本赤十字奉仕団大麻分団 15,000円、江別地区慈善バザー 73,161円、野幌料飲店組合 30,000円

▼つもり募金

道央農業協同組合江別支店 1,450円、セイコーマート 豊幌 1,254円、セイコーマートやよい 5,893円、レストランアカギ 626円、マキシドールパ 1,407円、北海道信用金庫五丁目支店 4,680円、青年センター 1,218円、林数男商店 1,531円、清美湯 754円、松乃湯 3,059円、ホクレンショップゆめみ野店 3,551円、あおい 255円、道央農業協同組合野幌支店 78円、北海道信用金庫野幌支店 111円、片山内科胃腸科 8円、7339円、コミュニティストア山田 141円、早川薬院7丁目店 1,506円

一般寄付金

▼趣旨に賛同して

マジック愛好会シルクハット 2,000円、お笑い宅急便 2,000円、江別あすか福祉会 7,512円、東イオンタールクラブ 13,581円、ソシアルダンス同好会 8,000円

▼チャリティ・イベントの  
益金・売上など

プロスピユート 19,486円

社協会長

おじやました

【9月～11月】

江別シルバークワイーク開会式・演芸大会、第8回えべつカラオケ大会、野幌地区慈善バザー、令和5年度札幌更生保護女性連盟Cブロック研修会、大麻地区慈善バザー、江別地区慈善バザー、ミュージックイオン音安心栖in北海道第17回チャリティ野幌元氣祭

福祉センター開館・休館のお知らせ

開館日時

月曜日 9時～17時

火曜日 9時～21時

※月曜日が祝日の日は、休館します。火曜日、祝日も開館していません。

休館日

(年末年始、1～3月)

12月29日(金)～1月3日(水)

1月8日(月)

2月12日(月)

医療法人 友愛会 **友愛記念病院**  
内科・心療内科・精神科・リハビリテーション科・歯科  
(療養・認知専門) 江別市新栄台 46番地 1  
TEL(011)-383-4124 <http://www.yuainen.or.jp/>  
訪問看護ステーション **ゆうあい**  
お気軽にご相談ください。TEL(011)-380-5678

医) 英生会 **野幌病院** JR野幌駅前 TEL382-3483  
野幌病院 地域医療相談室 TEL 381-2643  
介護老人保健施設 老健のっぽろ TEL 381-1133  
老健のっぽろ通所リハビリテーション TEL 381-1177  
在宅介護相談えべつ 英生会ケアプラザセンター TEL 381-8858  
訪問看護ステーション のっぽろ 訪問看護科 TEL 381-7877  
訪問リハビリテーション科 TEL 381-1193  
英生会グループホーム ゆめみの TEL 391-3119  
小規模多機能ホーム ゆめみの TEL 391-3229  
江別第二地域包括支援センター(江別市委託事業) TEL 389-5420

社会福祉法人 英寿会  
『英生塾』  
受講生募集!!  
「安心・安全・地域と共に」をスローガンに  
“頑張る人”を応援致します  
●介護職員初任者研修(昼間・夜間通学コース)  
●介護福祉士実務者研修(9・11・2月度コース通信課程)  
英寿会 事業所  
特別養護老人ホーム えぞりすの杜 ☎887-6333  
地域密着型介護老人福祉施設かっこうの杜 ☎391-9111  
ショートステイくまげら ☎391-9111  
小規模保育施設 ふくろうの森 ☎398-5568  
小規模保育施設 ぞうさんハウス ☎384-2280  
小規模保育施設 あかとんぼの森 ☎398-9234  
英生塾事務局  
〒069-0832  
江別市西野幌92番地16  
電話 (011) 375-7757  
FAX (011) 375-7767  
(お気軽にお問い合わせ下さい)

税の優遇 個人や法人の社協への会費・寄付金及び共同募金寄付金は、法令などで定める要件に該当した場合、法人税・所得税・個人住民税の優遇(軽減)措置があります。

社協会費 社協会費納入者は、年度分をまとめて7月号で掲載します。

# ボランティア掲示板

生活支援体制整備事業

江別市内の通いの場情報！地域の活動を紹介します



楽しいコーラス

「たんぽぽ」

開催日時 基本第1・第3水曜日 14時00分～16時00分  
 ※第2水曜日や第4水曜日に変更になる  
 こともあります。  
 場所 野幌公民館 2階 視聴覚室(野幌町13-6)  
 参加費 2,000 円/月  
 持ち物 飲み物、筆記用具、楽譜を入れる物  
 連絡先 ☎090-1380-7680(講師・森川)

「楽しいコーラス『たんぽぽ』は、令和6年1月17日から活動を開始する新しい歌の教室です。

講師の森川智重さんと武山真実さんは、経験豊富な音楽の先生です。他にも、野幌公民館や野幌公会堂で、リズムにのせて身体作りや脳トレを行う「歌と楽しい健康教室」(毎週金曜日10:30～12:00)を開催しています。

今回新たに立ち上げた「楽しいコーラス『たんぽぽ』」では、合唱を楽しむことで、表情筋を鍛えたり、発声法や滑舌のトレーニングをしたりすることができます。また、お手玉やラップの芯を使ってリズムを取るなど、音楽を使ったさまざまな楽しい脳トレも実施予定です。

すでに、80歳代・90歳代の方々からも参加してみたいとの声が届いています。

まずは、お気軽に、見学・体験から参加してみませんか？

江別市ボランティア団体連絡会

ボランティア会員団体を紹介します

## 江別認知症の人の家族を支える会 (かけはしの会)



私たちの活動に賛同して頂ける会員を募集しております。お待ちしております。

☎・FAX 011-387-5657

「認知症」は昔、「ぼけ老人」と呼ばれ、この病気に対する正しい知識と理解がされない中で、ご家族の方は大変なご苦労をされてきました。そのご家族に少しでも力になり、寄り添う事が出来ればと、平成元年より活動を始め34年ほどになります。認知症は2025年には5人に1人に達すると推計されている身近な病気です。誤解や偏見が家族の介護負担や虐待といった事態を引き起こす要因にもなっています。

当会は、「出前講座」を通して啓発活動を行い「認知症」を知っていただく活動を進めています。今、小学生を対象に寸劇やDVDを作成し小学校を訪問する準備中です。

設立当初からの活動は「相談電話」で、悩みや愚痴などしっかりと聞きしています。「家族の集い」では家族を対象に茶話会を行い、お互いの思いを話せる場を設けて専門職が相談にのっています。市の委託事業「やすらぎ支援」では、家族が一息付けるように家庭に出向き見守りと話し相手をしています。

元編集委員 真島 紀恵子  
 江別の福祉情報をわかりやすくお届いたします。

新しい年がめぐってき  
 ました。日々の暮らしの中  
 で年が改まると何かしら期  
 待が生まれます。  
 待たないで、ウクレレに  
 ナイフが刺さる、パイナ  
 の状況が起る、次々とし  
 の。特になんか、区別が  
 達。姿に心当たり、子ども  
 う。今早平安が戻りますよ  
 が。今年、は、安が戻りますよ  
 ぼ。治まり、社協の活動は  
 も。活動に、中止した。中  
 ン。活動に、中止した。中  
 始。活動に、中止した。中  
 開。活動に、中止した。中  
 の。活動に、中止した。中  
 見。活動に、中止した。中  
 ね。活動に、中止した。中  
 こと。活動に、中止した。中

編集後記

赤い羽根共同募金は、社協だよりも役立てられています

